No.1　坎位一白　九四頁

方位哲学は大成功の極意也
坎宮北方位の理由を明弁す
北方天地は陰中に陽の活動
北方は万物の始めを主どる
北方の定位は一白水星なり
北方位は産まれ出づる悩み
北方の悩みが大成功となる
北方の字義は何を物語るか
白色は万色の始まりである
水とは何か水は万物を生ず
家相内容の改造修理の心得
屋内改造は如何に影響するか
罪は人間の作るものに非ず
畳数の吉凶は如何に見るか
畳数に因る吉凶は先天法也
畳数鑑定法の正義運用活法
この癖者に実現すべき災禍
彼岸の仏事は農閑期の行事
彼岸中喜祝を忌む謂れなし
土地売却に対する鑑定実例
鑑定は天の精神に準拠せよ
三神如何に巡つて行くか

No.2　坤位二黒　一二〇頁

人生の本道
二黒土星即ち坤位の理由
人体に取つて二黒土星は胃腸となる
坤位に口のある家で生れた人
成功は二黒土星の産物
坤を無とす　乾を無とす
目に見ゆる萬物は
西南方六十度の圏内が未申
坤艮張りの吉相は主人の若死を主どる
坤艮二方張の母家で坤方に掃き出し口ある事は妻縁薄く
坤艮二方の張り出しは親戚に財宝を奪はれ
人の右手は坤方手芸を主る
右述如く生れし家の家相の徳
一日の盤にて一日の二黒の方位
月の方位二黒に向つて金円を借りに行く場合
日の二黒に向つて物を買い求めに行く場合
日の二黒の方位に行き洋傘を買い求む場合の例
或る職人が靴を買い求めた場合の例
其の他の例
方位の吉凶は古いのが利き目を現す
年盤方位に本命在宮する歳
満蒙の将来と社会の種々相
満蒙開発は昭和七年より早々に行はれる
昭和六年日支衝突の方位
昭和七年には満蒙戌亥に六白在宮す
満蒙住民は九千萬人より四億萬人に達す
農業は二黒
乾方に広大な地面を有する満蒙

No.3　震位三碧　六八頁

震東方三碧木星の元義
震は音響とす雷とす
震東方は萬物を生ずる
震三碧は三と八の数あり
人の言語は三碧木星
三碧木星の人の運勢
三碧の幸運時代は短命
親兄弟に縁が薄い
三碧木星の人は六十歳以上は注意を要
神仏に縁が薄い三碧木星
三碧木星は声あつて形なし
三碧木星は三八の数
三碧木星の長寿良相
震の三碧を足とす
東方三碧の方位に欠込みある場合
東方欠込み
東方は卯の方
三碧の人は旅行及び外出が大好物
家宅を相する大意
邸内に井泉を置かざる方針
寅の方より辰の方までに水溜り在る相
邸宅地内の水
水溜りの種類
湿土の作用
新らしき土地に新築する場合
家相は母家を主とする事

No.4　巽位四緑　七〇頁

巽位四緑木星
巽に斎うの元義
巽を風とす
浩然の気とは
巽を股とす
巽位は縁談の調と不調とを主どる
四緑木星を長女とす
四緑木星は枯木
自分と四緑木星との関係
巽を遠方とす
四緑木星の方位を用うると風邪に罹る
巽を部下とし献属とす
巽を従うとする精神作用を知れ
四緑木星の方位から来る縁談
四緑木星方位実鑑定例
二十二歳の男子家出実鑑定例
人事の吉凶を観測する優曇華の観別法
優曇華発見の時刻吉凶
午前午後の区別
屋内八方位に咲きたる見解
北方位に咲きし優曇華
北方に咲いた白色優曇華
北方青色優曇華は大吉
北方赤色優曇華は凶
神を信ずる資格を造れ
信仰者は宗教家でない
神を謬信するな

No.5 中央五黄 七四頁
五黄土星之元義
中央之元理
中央は三天両地
地数が二つある天理
三天とは陽の働らきを云う
五黄土星之中央は天地の元気
地球面上に在る諸物は皆古物
五黄土星は
五黄土星の方位
五黄殺の居る方位より来る品物
五黄殺から来た人は悪人
宗理上の善悪は五黄殺
悪心と善心は五黄一星の所有
此の善悪を人事上に釈すれば
正悪正慾は一家一身の生命
青黄赤白黒は五色の元色
五音は五黄土星
味は五つが元
人の五体は天地の創造
宗理元法の五臓
人の生命は五感の作用
五界の人道は五常の道
宗教元理を宗理と云う
宗教とは宇宙の元法を基とする
神仏を拝む人は宗教家と違う
天地の間は五数が体

No.6 乾位六白 六二頁
六白金星の元義
戌亥は乾の方
天門定位は主人の位置
乾位凶相の家に永住すると
戌亥の二支は家主の精神
亥の本性
親切心は亥の働らき
乾と云うは戌と亥の両支たる作用を謂
乾位活法
乾を止まるとするは活法
各個人の本命星が年盤の戌亥に在泊する歳は其の人の運勢が止まる
三十八歳と云う歳に慎む事は
後天乾位の方徳
年盤の戌亥に一白在宮せしを用うれば
寒気侵害作用は身体の気血
乾位の二黒を用いたる人は
後天乾位に年盤三碧在宮を犯せば
乾位の四緑を用うれば
乾位四緑を用いし人の病気
鑑定の妙用・三局の法

No.7 兌位七赤 八四頁
兌位七赤金星
西方の悦びは天地の創造
七赤金星は陰物
兌の七赤金性は人の悦び
兌の七赤金星は少女とす
兌を沢とする
人体の右肺は七赤金星
味感は七赤金星
人生の悦びは七赤金星
実印の用途を誤ると兌金死亡す
保証人の捺印要求者に対しては
保証人の捺印を要求されたら
右の災害を受ける人は七赤金星の暗
年月同会法 「剣殺の方災」
年盤南方の七赤に月盤上の三碧が同「会せし月
七赤に同会したる星は一ヶ不足
七赤の方位に在りし家屋
第一図
此家で生育十年に達する時は
西方縁側に添うて両便所のある家相
第一図の家相に生育せし者の発病期
不治の症と決定せし所以は如何
異星の生月にも来る
西方の反対の東方の入口関係
第二図
第二図の家相で七赤金星の人が生まれた場合
第二図の家相で酉の歳生れの人

No.8 艮位八白 六〇頁
巻頭法句
易経・艮為山の卦
艮位と先天八白土星の在位
寅は万物の始を為す所也
丑寅の方とは北東を指す
艮を止まると云う理は如何
八白星の八方位在宮の方象
八白土星の人は晩年の運勢
天与幸運の時機を失う勿れ
艮を節々とすると云う意義
東方八白在宮を犯した場合
辰巳方位八白在宮を犯せば
南方位の八白在宮を犯せば
未申方位八白在宮を犯せば
鬼門と云うは如何なる事ぞ
鬼門方位の恐るる理由の一
南方八白の方位からの縁談
女子の教育程度の活断密法
女子体格の健康状態は如何
北方に於ける男子の家運は南方家運に
主人死して家族幸福の家相
乾を闘士とす即ち主人闘士
西方廊下は金銭出逃の凶相
少女肺病に犯され早死の相
坤位土蔵は土地所有の吉相
女主人により家運増進の相
長屋門の曲直と運命の盛衰
運勢改造法
天地の運行即人生活動
天の道とは如何なる道か
五常の道は天地の営業也
○艮位之窓

No.9 離位九紫 六六頁
諷みて研究会員諸賢に告ぐ
易経離為火の卦
離の定位と九紫火星の元義
離は裁判也又文章印書とす
南欠けの家相は公争を起す
南方口家相と九紫生れの運勢
中年の災厄と南方欠け家相
南向き家相の災害は全盛期
中より運勢漸次衰退に向う
本命星南方遷座の運勢大極
南方位在宮星の人々の運勢
南方位吉相の人の運勢発揚
美名発揮は南方吉相の働き
南方凶相は明断の機能なし
頭部は南方九紫火星に当る
九紫火星は常に天恵を降す
丙丁とは太陽の熱気を指す
丙丁を家相に運用する方法
南方位移転の女子病気活断
九紫火星方位に移転すれば
年盤月盤の九紫同会の見方
南方位の井戸の災害は如何
南方井戸が家人に及ぼす害
南方位に於ける便所の吉凶

No.10 東之巻 六八頁

麗位の解説
東方炊事場の吉凶
東方の便所
邸宅の東方正門
神仏の位置
邸内神社
東方家相上の欠込み
邸内の井泉
邸宅地内の水溜り
新しき土地に家屋新築の場合
家相は母屋を主とすべきもの
信用を得て伸展性のある家相
他から大なる成功を斎すが持続は母屋の家相に懸る
男子に故障のある家相
主人の寝室の場所に依つて判定を異にす
営業は繁栄しつつ得意先から倒産される
相互の張りで同時に欠けの存在する家相
海外の支店の為、又はよき有能な雇人の為に繁栄する家相
両建物の繋ぎ方に依り結果の異なる家相
三合法を活用して判断すべき東方と乾方の欠けの関連性

No.11 西之巻 八六頁

家相の教えは太陽の真理
西方兌宮は天地の兌びなり
兌位鑑定は金銀財宝が基
金銭上の紛争は西欠けなり
西欠けに於て成功が極悪
先天後天共に西方は悩み
家相は人間生活を支配す
家相とは如何なることか
家相の骨子は何所にある
家相の真意義を理解せよ
西方位張り欠けの重大性
西方凶相の惨禍する由来
肺の疾患発生は西欠けなり
鑑定の上に現れたる実例
金の出来ない西欠け家相
西方廊下の凶相は如何に
西張り家相の妻君の実力
家相鑑定上の基礎的資料
家相の真理は天地の真理
西方相尅の恐るべき実例
美名発揮後に滅亡の家相
重病の発生する凶悪家相
酉と戌亥張り家相の特徴

No.12 南之巻 八八頁

離位の解説
家相上の南方炊事場
南方位の便所
南方の門
南方の廷内神社

後編

一旦成功して晩年金苦となる家相
公難、又は健康上頭部に発病を見る家相
眼病若しくは半身不随となる家相
名声を挙ぐる家相
政治に智識者を出す家相
自運の旺盛期に於てのみ成功する家相
智識ある雇人の為に繁栄する家相
健康上は脳溢血、或は色情関係からの服毒
成育の小児らの死す家相
永続性を得るは三方跨りの別棟を必要とす
奇形的な唇を持つて生れて来る家相
天干地支の密象鑑定法の例
三合法密象鑑定の例
変相・動相
屋内の方位
思想悪化は吉方転居に依り矯正を計れ
一方口の家相
天相式、豪相式家相の要素

No.13 北之巻 七六頁

北の特質と家相
北は陰の了りと陽の一との交る所
南は陽の了りと陰の一の交る所
北と南は中年を意味す
中年とは旺の意
家相北方位の欠けは子孫断絶
北の縁側と口のある欠け家相は色情の難
北の方の欠け張りの相半する家相
三合五行の張りのある家相は良相
北の別棟は営業繁昌の家相
泉水或は井戸は癌を生ず
艮位別棟の張りは財産の出来る家相
艮位に一連の張りを有する家相
三棟建ての家相……北に二重の張り
三方跨りの大吉相

No.14 乾之巻 九六頁
乾位の解説
乾位凶相の影響
乾位の炊事場
乾位の便所
乾位の門
乾位の邸内神社
乾位に関する連続鑑定
乾位強張の家相
乾位張り出でたる家相の転換
乾位張り出して北方の欠け込み凶相
乾位大いに張り出でたる家相の主人
乾位張りの家相に成育した人の注意
乾領の張り欠けは人の左肺に発病す
乾位大いに張り出し西方に欠け込みが出来
乾位大いに張り西方欠けの家の家運
西方欠けの原理と作用
第一図 乾巽に長い家相
第二図 乾位に母屋より大きな別棟のある家相
第三図 東西に長く乾位に欠け込みある家相
第四図 乾位の縁側と泉水
第五図 西乾北に亘る別棟のある家相
第六図 母屋の乾位に突起的張りのある凶
第七図 西乾北に亘る別棟の土蔵或はコンクリート建倉庫

No.15 坤之巻 九〇頁
坤位の解説
家相上の坤位に於ける一般的現象
家相上の坤方炊事場
家相上の坤方便所
家相上の坤方の門
家相上の坤位の邸内神社
一旦は成功するが後に潰れる家相
坤方欠けの家相は妻君死亡
急死をする家相
不正不純の精神行動を醸す家相
妻君愛の精神に富み、努力家である家相
不正を省みざる慾望の為に財産を失う家相
妻君にのみ依つて保持さるゝ家相
妻君の親戚が大なる力となる家相
慾張る程に金の溜らぬ家相
二段欠けの凶相
概ね健全なる家相
健康でいて下腹部に生ずる血塊の為死する家相
妻君が主人に代つて働き身体を斃して死する家相
妻君が腸を手術して後死する家相
家族は常に不健康、近隣に外敵を生じ子孫断絶の家相
金銭の為二代に亘る災禍を蒙る家相
一旦成功して極度に衰亡し、一家不和合の
夫婦共に努力して大をなし、次代へ継承し得る家相

No.16 巽之巻 九二頁
巽位解説
巽位の炊事場
巽位の便所
巽位の門
巽位の邸内神社
巽方に廊下ある家相は短命となる
巽方に三合の張りを有する良相は独立して成功す
母屋の巽方に物置とか倉庫、其の他の別棟があり家相
成育せられた子供は三十才以前に死する
巽方二重張りの良相で巽方の泉水池は腸に癌を生ず
成功はするが結局は滅亡
巽方の土蔵若しくはコンクリート建倉庫
巽方の土間は雇人の不和
家相の歪みは作用の歪みとなる
巽方の欠込み便所は再三縁変る
土間の作用は働き
女子相続の末財産他人に帰する家相
相及び思想と家相の関係解説
相と想との区別
人の思想の起点
凡そ天下の庶物は皆相を有す
万物に万相があり、家には又家相がある
家屋の修理増改築と家相上の影響
家相上の張り欠け

No.17 艮之巻 八八頁
艮位解説
丑寅方の空きは相続人死亡
繁栄しつつ親戚の為に家運潰滅し更に借金を負う家相
別棟に倉庫、土蔵、離れ座敷ある家相
坤艮に長く平凡な家相であつて一応の成功する家相
連続鑑定法の要ある家相
一居住の間営業の尽くる事なき家相
艮方の欠け家相は金銭の貯蓄不可能と親戚の為に損害を蒙る
金銭を貯めては親戚の為に損をする家相
遠隔地に土地を多く所有する家相
艮位の曲りは不正慾の為牢獄の難を蒙る
繁昌するが親戚に敵を生ずる家相
複雑な太極を有する家相

No.18 定位解説篇　七四頁

方位家相哲学の真の使命
定位とは如何なることか
八方位の名称と真の分界
後天定位幹支九星の分布
四季の循環と相生の順序
家庭にも天地の定位あり
四柱方位と時刻配別の理
日の方位は六十日間有効
月の方位は五箇年間有効
歳の方位は六十年間有効
目前の利益に因われるな
吉凶は是れ得失の道なり
幹支九星は総て五行なり
五行とは如何なることか
我を殺すものは相尅なり
我を生かすものは相生な
東方の凶相は一代で滅亡
東方三碧は音声の定位な
激励する理由を玩味せよ
感応の世界と方位の真理

No.19 的殺鑑定篇　六四頁

諸賢は率先して幸福を作れ
的殺方とは如何なる方位か
的殺方の災害は何時来るか
方位の見方と的殺の鑑定法
的殺方は如何にして起るや
在宮星と的殺方来災の区別
鑑定には必ず窮理を基とす
市井の易占業者と人格問題
的殺方位の年盤上の鑑定法
十年の東方的殺は特に強烈
月盤上の的殺凶方の鑑定法
日盤上の的殺凶方の実現日
天地の運行は人間への宗教
神代の歴史は気学を明示す
的殺方研究は安心立命の道
◇　◇
入梅と懼るべき土用の動土
入梅季とは如何なる季節か
土用中懼るべきは動土なり
動土災害は入梅に源泉あり
一番懼るべきは七月土用也
六月節より九月節迄の注意

No.20 暗剣殺鑑定篇　七八頁

緒言
神に方なし
暗剣殺発生の理由
年盤上の暗剣殺大凶方
二黒暗剣殺鑑定密法
二十年鑑定法
二十年鑑定法に於ける移転距離の
定住期間の長短に
特別鑑定例
二十年鑑定法の要素と着眼
二十年鑑定法の実鑑例
鑑定
本鑑定の解説
月盤上の暗剣殺凶方
月盤上の方災例と来災期の早晩関係
北方六白暗剣殺の鑑定密法
乾の活法
陽が陰に向つて闘うの原理
旧十月の神無月
日盤上の暗剣殺凶方
時盤上の暗剣殺凶方
暗剣殺の現象
結言

No.21 人生活動篇　七二頁

天地の運行即人生の活動
天の道とは如何なる道か
五常の道は天地の営業也
宗教は五行の大原則なり
天地の大法即ち人体定位
人体活動の源力は五臓也
天運五行は人生の活動也
他人を招き五行の御馳走
方位家相の根拠は数理也
五重の塔は宗理の象徴也
天地の働きが十幹十二支
十二支は一年間の働き也
天幹地支に依る判断方法
運命とは如何なることか
新設会社株と常識問題
看板に偽りある目論見書
会社も本命星に盛衰あり
創立が盛運期の行き停り
株価の激落と常識の失敗
常識を捨てて天理に順え
壱千萬円のお土産

No.22 結婚鑑定篇　一一四頁

良縁を失う迷信者
縁談交渉に際し既往の来歴を見るな
二十二才以外の年令結婚者
未婚者に対する鑑定法と順序
結婚鑑定の要素
結婚式は動者の吉方を用うべ
結婚後の初産に男子を求めよ
同星同会の変化
年の七赤方位に月盤も七赤同
男子が二十一才で女子が四十六才
縁談の有る家庭は
吉方を用いて入婚不能なる人は
結婚直後の新婚旅行の吉凶
移転する場合の距離の遠近
壁一重隣りの吉方
壁一重隣りの空家の使用法
縁談に就いて俄か増築は必ず凶
人生の成功を成し遂ぐる六韜三略の密法
天とは何を指すか
地とは何を指すか
人とは何を指すか
一粒の穀物が有る
憫れたる吉方を実用して仁精を養え
仁精涵養の出来ている人

No.23 同会密法篇 九十頁
運勢初原三段発動
運勢の発動点
人の運勢は三階
三種の起点第一
三種の起点第二
三種の起点第三
後天定位と
年盤同会法
後天定位解説
坎位の運勢
坎位に在宮する人
乾位在宮解明
兌位在宮之運勢
簡単なる鑑定法
坤位在宮解明
坤位在宮の運勢
離位在宮の運勢
巽位同会の運命
震位在宮解明
震位同会之運勢
艮位在宮解明
艮位同会の運勢
後天定位中央五黄同会
中央同会之運勢
後天定位と
年盤同会法総括

No.24 地相・家相の内容 一三〇頁
第一章 地相原理
地相の意義と種別
地相・土地相の強弱
地相の原理
第二章 地相鑑定法
地相吉凶の見方
第三章 地相選定の方法
東、巽、南の三局最も重要
第四章 古書の参考的文献
土地の生気鑑定法
第二 国相篇
第一章 国相上大極
八方位の分界と範囲
第三 家相の概要
第一章 家相大意
第二章 家内の明暗と地下室
第三章 中庭と四方道路
第四章 平家と二階建
第四 家相の内容篇
第一章 階段の意義と作用
第二章 かまどの位置
第四章 神棚の向き
第五章 邸内神社総説
第六章 八方位邸内神社

No.25 講義録第十六号 八六頁
八方位炊事場の吉凶
家庭と炊事場
北方の炊事場
乾位の炊事場
兌位の炊事場
坤位の炊事場
南方の炊事場
巽位の炊事場
震位の炊事場
艮位の炊事場
八方位便所の吉凶
神仏の置き処
神に方なし
神棚の向き
八方位邸内神社
神棚の備え飾り
邸内神社
太極に就いて（其の一）
太極とは一個と決つた物を言う
一個の人にも太極がある
太極に就いて（其の二）
太極に就いて（其の三）
地相の太極

No.26 干支九星闇解説 一〇〇頁
陰遁陽遁及び闇日原理解説に就いて
序説
天体上に起る源泉図解
大陰大陽の消長が陰遁陽遁である大法則
陽遁順行百八十日
陰遁逆行百八十日
陰遁陽遁合計日数三百六十日
太陽暦の閏は二十四時間
干支九星の運用に供する一昼夜
夏至の節に閏を附する時は
冬至の節に閏を附する時は
三合原理解説及び運用法
天体上の三合原理
〇三合五行を如何にして運用するか
〇三合力に欠けたる家は永久性は無い
閏歳を測知するには
十干五行とは何の効用をなすべきか
先天後天解説大意
「気学」創始者 園田真次郎先生略伝
山本光養

No.27 国相上の日本将来篇 五六頁
天相と天相式家相
世界一になつた日本の国相
全世界は二国二政治に帰す
二大王国となる日本と独逸
独逸の西洋全土征服の時期
世界の平和が確立する時期
軍備の拡張と大英雄の出現
日満両体相に於ける潜勢力
軍備縮小の主張は亡国思想
真文明と家庭的世界の確立
国相の鑑定上に現れた密象
天相の本体と
天相式家相
天相の本体は如何なるもの
相は目に見えず無形のもの
五気は宇宙に充満する生相
天相式の家相と浩然の大気
人間許り何故に短命なるか
自然に生存の動物は皆長命
天相式の家相は長寿保険付
各人の天授の定命は幾許か
人間は永眠して始めて萬全

No.28 宗教の元理と元義 六六頁
有難き本体は何か
文字は単なる目録
妙法七字の本体
南無とは天地の事
五大原則の活現
宗教の真の意義
宗教の真の効用
五つの原法解義
宗教実用の根本
妙法実用化の要
法に聞き教に従う
宗教の真の意義
宗教の根本精神
天道は即ち人道
七つの恩道と法
礼道の大義と和
信仰の真の目的
五字と人の運勢
信仰と精進

No.29 真理の宗教 七二頁
緒言
本館多年の宿願とその開眼
妙法蓮華経とは天地の目録
妙法七字の真髄と其の本体
妙法即ち五行の天気と真理
一家内に於ける五行の循環
儒教の真理も亦五行の運行
天地の真精神と父母の恩愛
五常の道と人倫道徳の確立
七恩の大法と五味五感五慾
人の悲境と恩道の因果関係
神仏の信仰と宗教の真意義
仁道に於ける積善の真意義
六曜とは宗理上何を指すか
礼道は和を破らざるにあり
宗教の真意義は実行にあり
五道と流行のダンスホール
位牌はわれ等に何を語るか
宗教上に於ける報恩の意義
乾方位の土蔵と宗理の関係
乾吹け家相と恐るべき宗理
坤方位の土蔵はかかあ天下の
夫婦はヤクザ雇人精動の家相
理屈は諸事必ず破壊となる
古きを捨て法意を活用せよ
宗教の本体は人造物でない

No.30 気学健康法篇 一〇八頁
人間の定命と九星
気学衛生法の意義
現代医学の欠陥
病気の根源は六白と二黒
実例
短命と本命中宮
気学より見た病気の原因
☒食物と病気と五行
☒運動不足と病因
☒気学衛生法と原理
気血循環の理法
実地応用法
☒治病神機
病気の幾を知る
重病と死病の区別
気学衛生法の真価
☒悪運消滅して福を招く法
☒功格五十条

No.31 気学奥意皆伝 一一〇頁
後天定位之図
四柱方位の時間
日の方位は六十日間有効
月の方位は五ヶ年間有効
歳の方位は六十年間有効
日前の利益にとらわれるな
吉凶とは何か
十幹五行
十二支五行
九星五行
五行とは何か
天の五行
我れを殺すもの相剋
我れを生かすもの相生
激励する理由を知れ
東方定位
音声定位
百八鐘声除夜の響、人生後天運
三元日とは何か
一月元旦の門竹は一家の基礎
門竹
正月の意義を知れ
家庭を有する者は
実鑑例
坎北方の理由を明弁す
北方天地の活動
北は万物の始め
北方定位は一白水星
白とは何か
水とは何か
家相、内容の改造修理
屋内の方位
畳の数を見る
畳数の生れは先天盤上
畳数鑑定法、正義運用活法
生涯に実現する災福は
彼岸の誤解

No.32 気学密伝 天之巻・地之巻 一一〇頁
南無妙法蓮華経
人生五慾
五色
寺院に五階の塔
宗教の宝
人の運勢
運勢
人の心の働き
我が一身を以つて運び行う
人生の五慾
以心眼見仏性
天下の五生類
経験上決定
療術法
日本国民は共通的短命
十方諸仏の解説
前人未解の座禅密法の公開
大六の魔王に対しては天魔とい
つてある
正しい法に背いてはならぬ
生ずることを正という
畏るべき七難
家相の太極について
邸宅内の方位実用法
家相と太極
南位概説
南方位の別棟
南方は顔面
眼の働き
被服王福岡逸平氏伝

No.33 青龍の地相解説篇　一三〇頁

地相大意
青龍の地相
土地相
三段別ある理由
凡地の生育者
青龍の土地相と家相
地相を体とし家相を用とす
地形の曲りは牢獄の難を産む
第一図東方欠け
第一図の如く三角形体の地相
東方地体の欠けは坤と化す
火災にて敗滅となる
此の家に来たる災害は朝
三角形は円なり
悪の道は心が働く
精神とは性の本領を云う
東方青龍の地は帝旺現れる所
東方青龍地の欠け込みは
東方青龍地の大欠け
青龍の地相を作る
乾兌高く東巽低く
東方で生れる前は丑寅方の養いを
東方三碧は生きている木
東方震位は雷とす
三碧中宮には南方に七赤
天下の色
東方凶相は啞者を産む

No.34 乾位張欠鑑定法篇　九四頁

乾領強張りの家相
乾領張り出でたる家相の転換
乾位張り出して北方の欠け込凶相
乾領大いに張り出でたる主人
乾張りの家相に生育したる人の注意
乾領の張り欠けは人の左肺に発病す
乾領大いに張り出し西方の欠け込み
乾領大いに張り西方欠けたる家運
西方欠けは
実鑑定例

※No.35 家相精義以下続き

緒言
第一篇　家相哲学
第一章　家相の原理
家相は即ち天相
家相の張り欠け
第二章　相の哲理
万物に万相あり
天相と人想
家相は生きもの
家相と人相・手相
子孫繁栄の法道
第二篇　家相の見方
第一章　後天定位法
五気の運行循環
八方位の方相
五気定位
第二章　中心の定め方
磁石の振り方
寝室を中心とす
張り欠け吉凶の理
第三篇　家の建て方
第一章　建築設計の順序
吉相の備えの順位
着工と建前の方位
土台・基礎の造り方
第二章　家屋建築の実際
家相は母屋を主とす
四二間の真の意義
別棟の建て方
窓と空気抜の取り方
第四篇　家相と病気
第一章　空気と病気
四生の原理と病気
建物の間隔と湿生

※家相精義続　二二四頁

第二章　五体五臓と家相
人体と家相とは一如
家相より起る病気
方位と病気の種類
病気鑑定の基礎
死期判断の注意
第五篇　家相と運勢
第一章　家相定位法
人生の幸福と家相
家族定位の吉凶
成功定位解説
△金銭定位
△信用定位
△営業定位
△土地家屋定位
第二章　幸運確保の法
三合張りの家相
家相長命法
改造は絶対不可
第六篇　家相鑑定法
第一章　四正の部
東方
南方
西方
北方
第二章　四隅の部
辰巳方
未申方
戌亥方
丑寅方
第三章　子孫繁栄の家相
結言

No.36 気学大全・上巻　一一六頁

（一）方位否定論の否定
（二）方位哲学は自然の道
（三）方位分界の方法
（四）方位哲学の使命
一、相生相尅論
（一）吉凶即ち生尅
（二）生尅の原理活用法
（三）相尅の哲理
二、吉方論
（一）吉方の吉作用
（二）生気
（三）毗和
（四）退気
（五）歳徳
三、凶方論
（一）凶方の意義と作用
（二）暗剣殺
（三）五黄殺
（四）歳破、月破
（五）本命殺
（六）的殺
（七）殺気方
（八）死気方
九星解説
九星活用法

No.37 気学大全・下巻　一一六頁
後天定位解説
後天の意義
後天定位の作用
中央五黄の活作用
死気方
小月建（小児殺方）
大金神（大将軍）
吉凶発現の時期
九星活用法
九星作用の根本法則
自運の消長判断法
九星の九作用
九星同会法
対中法
四正四隅の判断
三合五行の法
天体上の三合原理
四線法（線路法）

No.38 密象口伝会・講演集・上巻　九四頁
第一回　昭和十年五月三〇日の講演より
第二回　昭和十年六月三〇日の講演より
第三回　昭和十年七月二八日の講演より
第四回　昭和十年八月二五日の講演より
第五回　昭和十年九月二二日の講演より
第六回　昭和十年十月二七日の講演より

No.39 密象口伝会・講演集・下巻　九四頁
第七回　昭和十年十一月二四日の講演より
第八回　昭和十年十二月二四日の講演より
第九回　昭和十一年一月二六日の講演より
第十回　昭和十一年三月二二日の講演より
第十一回　昭和十一年四月二六日の講演より
第十二回　昭和十一年五月二四日の講演より

No.40 （園田龍明著）方位活法秘伝・気学虎の巻　一一〇頁
前兆即座占いの秘訣
鳥と縁談　三題
紐と縁談
蜂を見て来客を知る話
鼠で居候を占う話
虫を見て死亡通知を察する話
災厄前知法
九紫暗剣殺と酒宴の争い
九紫暗剣殺と離別の女性
九紫暗剣殺と夜中の発熱
四緑暗剣殺と郵便
暗剣殺人物と交渉の損失
方位と吉凶
九星相生相尅表
相生の的殺
大歳方位及歳破方位一覧表
月建方位及月破方位一覧表
歳徳一覧表
小児殺方位一覧表
職業を聞いて運命を観破する法
営業を聞いて一家の浮沈を占う
日盤八方位の秘訣
日盤八方位の暗剣殺
方位と結婚・各方位との縁談
暗剣殺方位との縁談

No.41 （園田龍明著）気学象意秘伝　一一二頁
一白水星之部
二黒土星之部
三碧木星之部
四緑木星之部
五黄土星之部
六白金星之部
七赤金星之部
八白土星之部
九紫火星之部
基本諸表之部

No.42 気学活用篇　一七三頁　平成十九年発行予定
一、坎位先天の理
二、坎位後天の理
三、坎位壬癸子
四、坎位一白水星
五、坎位の卦象
(一)書類捺印の注意
六、一白水星命の大義
七、後天定位と年盤同会密法
八、北方便所の解説
九、坎位一白に移転した場合
十、一白方位の縁談
十一、一白の暗剣を犯した場合
十二、一白を妊娠とする、妊娠中の注意
十三、病気鑑定密法
(一)病気はいつ発生するか
(二)運勢の陰陽と健康
(三)人の身体も方位に等しい
(四)人体五臓と方位
(五)真の病源は肺と腸
(六)密象と応用鑑定法
(七)死病と重病との区別
(八)病気は不動点に生ず
(九)病人の方位転居密法
(十)一白水星の諸象
十四、北の三合鑑定
十五、北の地相
十六、